

## <Vbadoc コメント規約>

本書は、Vbadoc 機能で解析する VBA プログラムコード内のコメントの記述規約について纏めるものである。

### ・VBA プログラムの概要

VBA プログラム全体の内容を示す概要文については、ThisWrokbook モジュールの先頭のコメントを対象とする。すなわち、ThisWrokbook モジュールの上からパース処理を実行し、一番最初にみつけたコメントを該当データと判定する。また、このコメントが複数行に渡り続く場合は、次のブランク行までを該当データとして抽出する。

### ・各モジュールの概要

各モジュールの実装内容を示す概要文については、それぞれのモジュールに対して、上からパース処理を実行し、最初に見つかったコメントを該当データとする。但し、モジュールが ThisWorkbook モジュールの場合は、最初に見つかったコメント (VBA プログラムの概要) ではなく、2 つ目に見つかったコメントをモジュール概要のコメント対象とする。

### ・WindowsAPI の宣言

モジュール内の API 宣言のドキュメント出力の対象となるコメントは、API 宣言の上部のコメントとする。API 処理の概要説明文については、そのコメント内の、文字列” 概要:” 以降のコメント文章を説明文とし、戻り値については、文字列” 戻り値:” 以降のコメント文章を戻り値の説明文とする。また、引数については、引数名とコロンの続く文章を、それぞれの引数の説明文とする。

例 :

```
' 概要:引数に渡された社員情報より、  
' 該当する社員の入社年月日を返却する。  
' id:社員 ID  
' name:社員名  
' 戻り値:入社年月日  
Public Function GetStaffEnterDay(ByVal id as String, ByVal name As String) As Date
```

### ・Const による定数定義

定数値の説明は、定数定義の右側に記述されたコメントを対象データとする。

例 :

```
Public Const PI = 3.14159          '円周率
```

### ・Enum による定数定義

列挙値定義の説明は、Enum 定義の上側に記述されたコメント、Enum 内に記述された列挙定数値定義については、右側のコメントを対象データとする。

例 :

```
'住所マスタのフィールドインデックス列挙値  
Private Enum EnumMstRecFieldIdx  
    EMRIDX_ID = 1          'ID  
    EMRIDX_NAME          '名前  
    EMRIDX_ADDRESS      '住所  
    EMRIDX_TEL          '連絡先  
    EMRIDX_NOTE         '備考  
End Enum
```

### ・Type による構造体定義

構造体定義の説明は、Type 定義の上側に記述されたコメント、Type 内に記述されたメンバ変数については、右側のコメントを対象データとする。

例 :

```
'住所マスタのレコードデータ  
Public Type StructAdrrsRecord  
    id As String          'ID  
    name As String       '名前  
    adr As String        '住所  
    tel As String        '連絡先  
    note As String       '備考
```

## End Type

- 変数宣言  
変数宣言の説明は、変数宣言の右側に記述されたコメントを対象データとする。

例：

```
Private WkBuf(1000) As Byte          ‘ワークバッファ
```

- 関数の定義

モジュール内の関数定義のドキュメント出力の対象となるコメントは、関数 I / F 定義の上部のコメントとする。関数処理の概要説明文については、そのコメント内の、文字列”概要:”以降のコメント文章を説明文とし、戻り値については、文字列”戻り値:”以降のコメント文章を戻り値の説明文とする。また、引数については、引数名とコロンに続く文章を、それぞれの引数の説明文とする。

関数内の連続したシングルクォーテーションで始まるコメント文は、関数の処理フローとして抽出し、ドキュメント出力できるものとする。連続したシングルクォーテーションで始まるコメントが複数行続いている場合は、1つの処理フロー文として連結して抽出する。

例：

```
’概要:引数に渡された社員情報より、  
’該当する社員の入社年月日を返却する。  
’id:社員ID  
’name:社員名  
’戻り値:入社年月日  
Public Function GetStaffEnterDay(ByVal id as String, ByVal name As String) As Date  
  
’’ idより社員を検索する。  
  
’’ i名前が一致するかどうか確認する。  
  
’’ Date型の入社年月日を返却する。
```

End Function

## <特記事項>

本文書中で、使用されている上部のコメントとは、関数や構造体定義の記述と、その上部のコメントが、行として連続しているコメントのことを指している。ブランク行を挟んでいる場合は、コメントは、存在しないものとして判定されるので注意が必要である。

以上